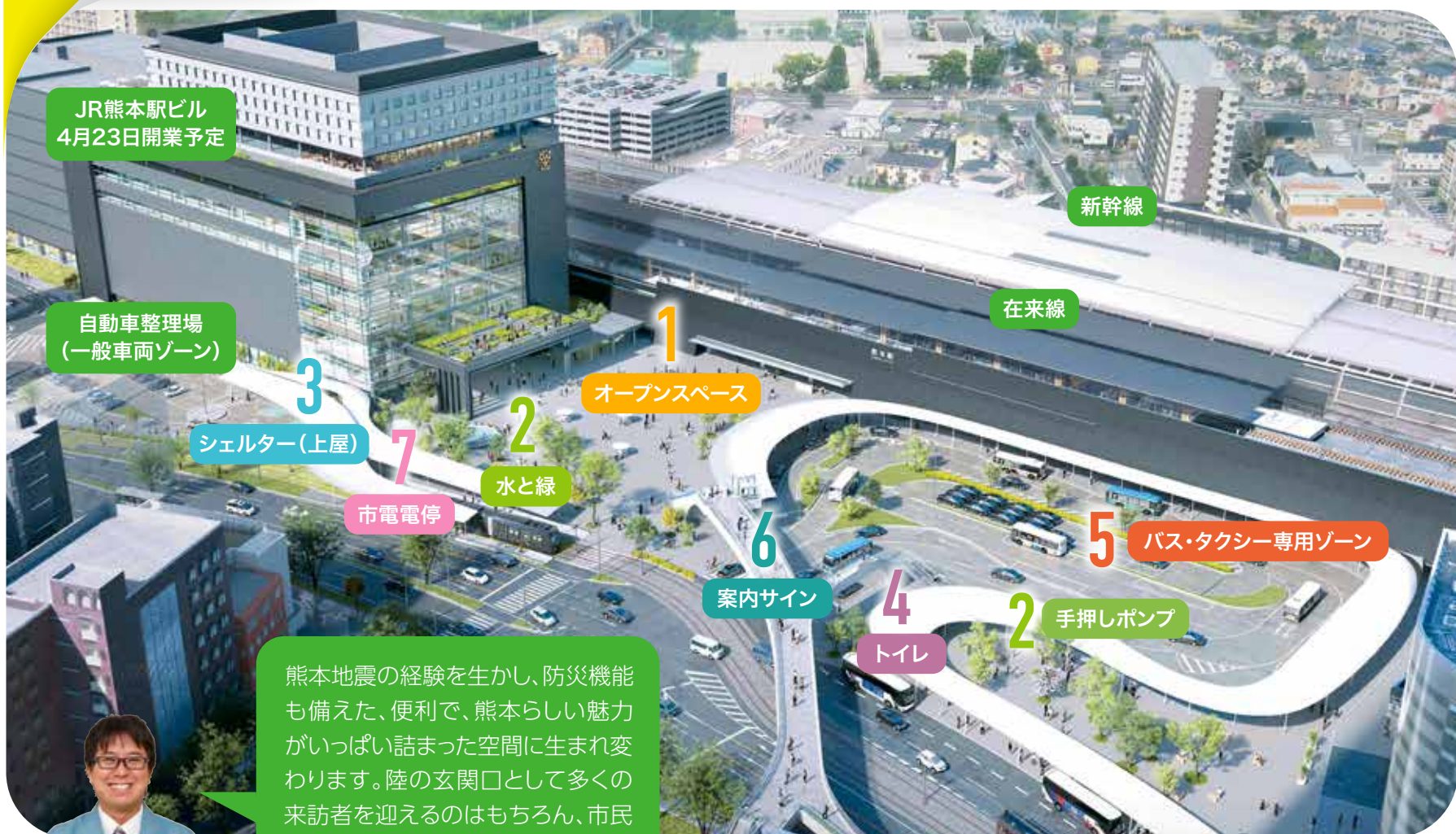


この春
ついに完成!!

7 熊本駅白川口駅前広場で見つけた 7つのうれしいキーワード

「熊本の新しいモノ」にアンテナを張るキッズ探検隊が、まもなく完成する熊本駅白川口駅前広場を徹底調査。「びっくり!」「ステキ!!」を連発しながら、見つけた7つの魅力を紹介します。



※図はイメージです。実際には異なる場合があります。

熊本地震の経験を生かし、防災機能も備えた、便利で、熊本らしい魅力がいっぱい詰まった空間に生まれ変わります。陸の玄関口として多くの来訪者を迎えるのはもちろん、市民の憩いの場になってほしいです。



キッズ探検隊の調査を手伝ってくれたのは
熊本駅周辺整備事務所
たかた りゅうのすけ
高田 竜ノ介

1 「にぎわいと交流」の広場が完成

オープンスペースでは、熊本駅ビルの屋根の下も含めて、さまざまなイベントを開催することができ、駅前ににぎわいや交流を創出します。また、災害時の帰宅困難者の一時避難場所としての利用や、ボランティアセンターなど復旧・復興の活動拠点としての活用もできます。



※図はイメージです。実際には異なる場合があります。

3 「雨の日も安心!」 屋根でつながる歩行空間

雨にぬれず日陰が連続する快適な動線確保するために、シェルター(上屋)を整備。また、JRの駅舎と駅ビルの軒下を活用することで快適な動線がひとつにつながりました。大きな荷物を持った観光客にもやさしい空間になっています。



※図はイメージです。実際には異なる場合があります。

2 「熊本らしい」 水と緑のシンボルがあるよ

熊本が世界に誇る豊かな水を感じることができる、大小2つの水景施設がお出迎え。夏場には子どもたちが水遊びできる、憩いと安らぎの空間になっています。また、電車通り沿いの街路樹とつながるように色鮮やかな木々を植栽。森の都の雰囲気を楽しめます。



シェルター(上屋)の下に置かれたベンチは県産木材でできているんだって。他にも、トイレの壁や天井にも県産木材が使われていて、ぬくもりに満ちた憩いの空間になっているよ。